

2021年10月15日

「転移性肝腫瘍に対する経皮的局所療法の有用性に関する研究」

1. 研究の対象

2012年1月1日から2018年12月31日までの間に当センターで転移性肝腫瘍に対して肝切除術あるいは経皮的肝局所治療(ラジオ波焼灼術あるいはエタノール注入療法)を受けた方

2. 研究目的・方法

「目的」 経皮的肝局所治療の至適症例や好適応を明らかにするため

「方法」 対象患者さんの臨床経過について調査を行う

「研究期間」 2019年2月1日から2022年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果、画像診断結果、転帰、死亡日時、最終診察日、化学療法の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 消化器内科

研究責任者：(役職) 副部長 (氏名) 俵 誠一

電話 06-6692-1201 内線 7918